



一流を目指す富士中学校

学校だより

http://school.city.koshigaya.saitama.jp/fuji_j/

2022年度
令和4年度6月号
校長 土谷 昌秋
教育目標
『志に燃える』
越谷市立富士中学校

「真の勝者」

6月。

今月は学校総合体育大会の班予選会が実施される。

3年生にとっては中学校生活最後の大会となる。持てる力を十分に発揮してほしい。

試合に臨むにあたり、みなさんにある大切な気持ちをもってほしいと願っている。

「ノーサイド」

私が大好きなラグビーの世界で一番大切にされている精神である。

それは、対戦する相手に対して敬意を払うということ。試合が終われば、敵も味方もない。そこには、お互いの健闘をたたえ合う崇高で純粋な気持ち以外、何もない。

この「ノーサイド」の精神は、ラグビーに限らず全ての競技で大切である。試合ができるのは、相手チーム、選手がいるおかげ。その相手も自分たちと同じように一生懸命に練習を重ねて試合に臨んでいる。試合に勝ったからといって「俺たちのほうが強い。」などと傲慢な態度で自慢したりせず、勝っても謙虚な態度で相手の健闘をたたえる。また、負けたとしても、「あいつのせいで負けた。」「審判が悪い。」などと言い訳したりすることなく、自分たちの負けを認めて相手の勝利をたたえる。

勝っても負けてもお互いが全力を出し切り、気持ちよく試合をすることができたことに、相手への敬意と感謝の気持ちを持つことがこの言葉に凝縮されている。

「真の勝者」とは、だれからも尊敬されるチームや競技者になること。勝敗に関係なく「今日は、お互いが全力を出し切って戦ったので、気持ちよく試合ができた。ありがとう。」と、対戦相手と気持ちを交わすことができるチーム、競技者のことである。まさに、「ノーサイド」の象徴である。

いよいよ大会が始まる。富士中生としての誇りと相手を敬う気持ちを持って、正々堂々と試合に臨んでほしい。

そしてみなさんが「真の勝者」として帰校することを待っている。



ノーサイド